

## 第14回 EMDR Part 2 トレーニングへのお誘い

青葉が目には鮮やかな今日この頃ですが、みなさまにはご清祥のこととお慶びもうしあげます。

Part 1 トレーニングを終えた多くの方が、2まで終えないとちょっと怖くって手を出せないようなクライアントが多いとおっしゃいます。2で扱うさまざまな手続きは、より複雑で深刻な外傷記憶を上手に扱う大きな手助けとなります。否定的な記憶の再体験をより短く、より楽に済ませることで双方の負担が軽減できます。今までのみなさんの臨床感覚を活かす柔軟な方法も見えてきます。継続研修の機会も充実してきていますので、その前提となる Part 2 トレーニングに是非ご参加いただけますようにご案内申し上げます。二瓶社から出版されたシャピロ博士の2つの著作の翻訳、また、昨年星和書店から出版されたところの臨床アラカルトのEMDR 特集号も大変好評です。

講師は同研究所のシニア・トレーナーであり、兵庫教育大学発達心理臨床研究センタートラウマ回復支援研究分野教授の市井雅哉が勤めます。急性、慢性のPTSD、恐怖症、ストレス、不安障害、うつ病の査定と治療を得意としています。約22年の臨床歴を持つ臨床心理士です。現在、日本EMDR学会理事長、日本行動療法学会の編集委員、EMDRIA編集理事を務めています。これまでにEMDRに関して日本心理臨床学会、日本ブリーフサイコセラピー学会、日本行動療法学会、日本認知療法学会、日本カウンセリング学会、日本心身医学会、日本外来精神医学会、日本バイオフィードバック学会、日本トラウマティックストレス学会、日本催眠学会、日本臨床催眠学会、日本EMDR学会、日本健康心理学会、WCBCT、韓国EMDR協会での招待講演講師、ワークショップ講師、シンポジスト等を務めてきました。

このPart 2のトレーニングの3日間の全てのセッションに参加なさった方は、カリフォルニアのEMDR研究所に登録され、日本EMDR学会発行のEMDR トレーニング修了証が送付されます。

日 程：2009年 8月7日(金)、8日(土)、9日(日)の3日間

初日受付開始9時 研修開始 9時30分

2日目、3日目の研修開始9時

終了は3日もとも5時（2日目の夜には希望者による懇親会を計画しています（参加費別途））

参加資格：下記●参加資格をご覧ください。

定 員：63名（予定）

参加費：50,000円（英語・日本語テキスト代を含みます）

受 付：2009年6月1日（月）～7月10日（金）（消印有効、審査後に参加可能かどうかのご連絡をします）

会 場：名古屋市中企業振興会館

〒464-0856 愛知県名古屋市千種区吹上2丁目6番3号

TEL 052-735-2111（代表）

●参加資格・・・日本EMDR学会（旧EMDR-Network JAPAN）が定めた参加資格

医師・・・免許取得後、精神科・心療内科・小児科などの領域で2年以上の臨床経験を有する方。

心理職・・・臨床心理士資格認定協会資格「臨床心理士」資格取得者。

●Part 2 トレーニングの受講は 規定により、Part 1 修了後、一定期間の臨床実践（3ヶ月以上）を経てからでないと認められません。part 1 修了後の実施状況を受講許可の参考にしますので、規定用紙に記入ください。

●EMDR（眼球運動による脱感作と再処理法）は、フランシーン・シャピロ博士がPTSD(心的外傷後ストレス障害)

の治療のために1989年に発表した心理療法で、迅速かつ効果的な方法です。APA（アメリカ心理学会）、ISTSS（国際トラウマ研究学会）、英国保健省、イスラエル、フランス、米国防省、ドイツ、オランダ、北アイルランド、スウェーデン、オーストラリアなどでもPTSDに対するEMDRの効果を実証されたものとして評価しています。最近では、EMDRの適用範囲は、多くの不安、うつといった精神疾患から疼痛といった身体疾患までより広がっています。その過程で用いられる眼球運動が、情報処理モデルにおける神経生理学的活動を刺激することで外傷的な記憶の再処理を引き起こします。Part 1 トレーニングの修了で単回のPTSDや単一恐怖などに対応でき、Part 2まで修了すると複雑性PTSD、解離性障害、社会恐怖や人格障害などにも柔軟に対応できるようになります。

●**シャピロ博士**はカリフォルニア州パロアルトにあるMRI(Mental Research Institute)の主任研究員、EMDR研究所の所長、人道支援のNPO組織EMDR-HAPの代表、The American Academy of Experts in Traumatic Stressの理事、Traumatologyの編集委員を勤めています。30以上のEMDR関連の著作があり、世界中でトレーニングを行っています。

●研修は大きく、**講義**と**実習**に分かれています。**講義**は市井雅哉による一斉講義ですが、**実習**では参加者は2～3人1組で役割を交代しながら実習をします。9～10人に1人の割合でファシリテーターが付き、実習をスーパーバイズします。この体制は、実習場面での急速な心理的変化に適切に対応するためのものです。

●**ファシリテーター**：大澤智子（兵庫県こころのケアセンター）、太田茂行（生活心理相談室ナヌーク室長）、菊池安希子・白川美也子（国立精神神経センター）、北村雅子（つくばトータル・ヘルスプラザ、川越心理研究相談所）、田中究（神戸大精神科）、本多正道（本多クリニック）、福井義一（東海学院大学）、仁木啓介（ニキハーティホスピタル）

● **申し込み方法**：同封申し込み書2枚（HPでも入手可能）に所定事項をすべてご記入の上、返信用封筒としてご自分の住所、お名前を記入なさった定形最大封筒（A4用紙が3つ折りでのサイズ）に80円切手を貼って同封し、下記までご送付ください。2009年7月10日（金）の消印有効とさせていただきます。この日以降に資格審査の後、受講いただける方には会場の地図、入金方法等を返送しますので、その指示に従い、参加費をお払いください。入金を確認した時点で、予約参加者証をお送りいたしますので、当日会場にお持ちください。1週間以上入金が遅れるとキャンセル扱いとなることもありますのでご注意ください。（昨年からの実施状況をご報告頂くように申し込み方法が変わっていますので、ご注意ください。）

●申し込み・問い合わせ先：下記で承ります。会場への直接のお問い合わせはご容赦ください。

主催：日本EMDR学会（旧EMDR-Network JAPAN）\*

事務局：〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学 市井研究室

TEL & Fax: 0795-44-2278 e-mail: info@emdr.jp URL: www.emdr.jp

\*日本EMDR学会はEMDRIA（国際EMDR学会）から日本でのEMDRに関する研修認定、資格認定を行う組織として認定されました（2004.2.26）。

EMDR トレーニング (Part 2名古屋) 参加申込用紙

(すべての項目は楷書で、英文表記はブロック体でもれなく記入して下さい)

①氏名			
②①の英文表記			
③主たる所属機関名・ 部門・役職名			
④③の英文表記			
⑤資格(免許)・登録 番号および資格発行 機関・団体名			
⑥⑤の英文表記			
⑦住所(勤務先)	〒	フリガナ	
	電話	Fax	
	E-mail		
⑧住所(自宅)	〒	フリガナ	
	電話	Fax	
	E-mail		
⑨連絡先の希望	勤務先・自宅(○をつけて下さい)		
⑩最終学歴(学部・専攻を 明記のこと)			
⑪心理・精神科 臨床経験年数	年	⑫主たる心理・ 精神科臨床の機関名	
⑬指導者・推薦者名	(精神科医・臨床心理士・その他)		
⑭所属学会名 ⑮(その英文表記)			

年 月 日申し込み 署名:

Part 2受講希望者は実施状況報告書ももらさず記入のこと。このページのみでは受け付けませんのでご注意ください。

# EMDR 実施状況報告書

以下に、part 1 修了後の EMDR 実施状況を正直にお知らせください。治療の成功かどうかを受講許可の判断基準には致しません。どの程度の実施状況で受講許可が下りるかは予測ができませんが、昨年は申し込まれた方、ほぼ全員を受け入れることができました。3名分のクライアントへの適用記録をご報告頂ける用紙をお使い下さい。

氏名： \_\_\_\_\_

Part 1 受講年月： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月          場所： \_\_\_\_\_

EMDR 適用ケース数： \_\_\_\_\_ 名、EMDR 適用のセッション数： \_\_\_\_\_ セッション

# 1	男・女	才	これまでのセッション数：	のべ EMDR セッション数：
	ターゲット記憶： NC： PC： その他、特記すべき情報			
# 2	男・女	才	これまでのセッション数：	のべ EMDR セッション数：
	ターゲット記憶： NC： PC： その他、特記すべき情報			
# 3	男・女	才	これまでのセッション数：	のべ EMDR セッション数：
	ターゲット記憶： NC： PC： その他、特記すべき情報			

その他参考になりそうな情報：